

(様式)

機械工学委員会分科会の設置について

分科会等名： 機械工学分野東日本大震災対応分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	○機械工学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員または連携会員
3	設置目的	<p>2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震と津波、そして福島第一原子力発電所の事故は、東日本に極めて多数の被災者と大規模な損害をもたらした。原子力発電所の事故は未だ収拾に至っておらず、町や都市そして生活基盤を失った多くの被災者が今も困窮の生活を余儀なくされている。また、被災地に立地していた多くの生産、物流、エネルギーなどの拠点が被災し、その影響は国内に留まらず、世界に広がっている。</p> <p>このような中で科学技術の各分野は、短期的、あるいは中長期的に、被災地の復興、そして日本の新しい国造りにどのように貢献できるかが問われている。本分科会は、主として機械工学の立場から、こうした課題について提言と具体的な行動計画を立案することを目的とする。</p>
4	審議事項	<ul style="list-style-type: none"><li>被災地域の復興及び原子力発電所事故に対して、機械工学として取り組むべき課題を抽出し、それらに対する基本的な対応方針と、各課題への短期、中長期的対応策を立案する。</li><li>具体的対応策を、機械工学関連学協会と連携して進める方法を検討する。</li><li>日本学術会議の関連の委員会、分科会に協力して、機械工学分野としての提言をまとめる。</li></ul>
5	設置期間	時限設置      年      月      日～      年      月      日 ○常設
6	備考	